

## 『相手のことを思いやる気持ち』

小城市立砥川小学校 6年 武田 悠暉

私はよく、犯罪のニュースを見て、どうして犯罪なんかするのだろうと、被害者のことを考えるといつも心が痛くなります。罪を犯す人は、どうして犯罪に手を染めてしまうのか、その心理状態についてインターネットで調べてみました。その結果、二十才未満の犯罪も意外と多く、理由として、不満や怒りに対する感情のコントロールができていないことが分かりました。犯罪に関わらず、感情をコントロールできない人が、ここ最近増えてきていることは私も実感できます。授業中、怒りをばく発させて、大声をあげたり、バンバンと音を出したりして、私もふくめて周りの人が困ってしまうことがあります。私は、その人を責めるのではなく、なぜそんな行動をしたのか意見をきちんと聞いて、相手のことを理解し、はげますことがとても大切だと思います。相手の意見をしっかり聞くことで、相手も自分も納得でき、解決へと向かうのではないでしょうか。

また、だれもが気持ちよく明るい社会で過ごすためには、思いやりも絶対必要だと思います。そこで、私は思いやりに関する言葉を調べてみました。はげます、助け合い、笑顔、親切、親友など前向きな言葉ばかりでした。怒りや不満がわいてきた時は、相手のことを思いやる余ゆうがなく、自分のことばかり考えてしまいがちです。そうなった時に後悔しないために、「感情をコントロールする六つの方法」というものがあるサイトに紹介さ

れていました。「一、ルールを決めておく」「二、場所を変える・時間を置く」「三、マイナスイメージを調整する」「四、体を動かす。姿勢を変える」「五、相手や第三者の立場に立つ」「六、感謝のリストをつくる」という六つの方法です。私は、この中でも六つ目の「感謝のリストをつくる」は相手に思いやりを示すのに、一番いい方法だと思います。相手に対して不満や怒りなどの感情がわいてきた時、相手への感謝を思い出して感謝のリストを書くことで、怒りより感謝の気持ちが上回るそうです。例えば、毎日のようにけんかしている妹へのリストを考えてみました。「私ができないことを代わりにしてくれてありがとう。」「私のために絵をかいてくれてありがとう。」「私の話にのってくれてありがとう。」「私といつもいっしょに、遊んでくれてありがとうございました。」こうやって妹への感謝の気持ちを文字にするだけでやさしい気持ちになれました。

だれにでも不満や怒りなどのネガティブな感情を持っています。その感情をだれかにぶつけ、傷つけてしまうようなことがないようにしなければなりません。犯罪やけんかになる前に、相手のことを理解し、思いやりの気持ちで接することが大切だと思います。みんなが笑顔で争い事のない社会になってほしいと心から願っています。私は私に出来ることを心がけて、毎日の生活の中で実せんしていきたいです。